

のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）
 TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367
 〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com
<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

今年度初めての広報誌となりますので、県全体の現状と、昨年度の「のだネット」の実績を報告いたします。

他の圏域と比較したところ、相談件数は平均より多く、相談種別は平均的でした。

千葉県中核地域生活支援センター(13圏域)の現状

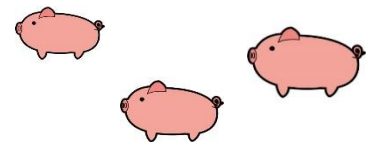
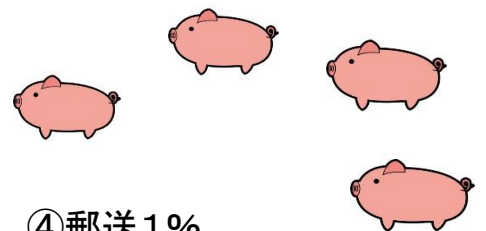
- ・年間相談件数： 約9万件
- ・相談種別： ①障がい70% ②高齢10% ③児童10% ④その他10%
- ・相談内容： ①家族関係25% ②医療に関すること20.4%
 ③経済的困窮19.4% ④介護支援サービスに関すること19.4%

【のだネット】平成26年度実績報告



- ・年間相談件数： 8,978件
- ・新規相談件数： 253件(月平均21件)
- ・相談方法： ①電話70% ②訪問25% ③来所4% ④郵送1%
- ・相談時間帯：

0～6時	0.5%
6～9時	8%
9～17時	71%
17～21時	19%
21～24時	1.5%
- ・相談種別： ①障がい64% ②高齢15% ③児童13% ④その他8%
- ・相談内容：
 - ・家族関係(家庭内暴力等)
 - ・医療に関すること(受診、入院相談等)
 - ・経済的困窮(債務整理等)
 - ・サービスに関すること(手帳の取得、通所、入所相談等)
 - ・障害年金等申請支援



自立支援協議会 専門部会の動き 今年度初めて各専門部会が開催されました。

■相談支援部会

平成27年5月19日に開催されました。「医療型障害児入所施設及び療養介護事業所の利用申し込みについて」野田市保健福祉部障がい者支援課より説明がありました。

「入所希望者等の情報収集と情報管理及び入所調整を行う施設は、千葉県重症心身障害連絡協議会に加入している以下の施設とする。

・千葉市桜木園 ・聖母療育園 ・千葉リハビリテーションセンター愛育園 ・独立行政法人国立病院機構下志津病院 ・独立行政法人国立病院機構千葉東病院 ・東葛医療福祉センター光陽園

入所待機者調整会議は、加入施設が入所希望者等の入所を検討するに当たり、必要な情報を収集し、加入施設間で情報を共有し優先度を検討するため、原則月1回開催する。」

上記及び入所については「児童相談所」もしくは「市町村障害福祉主管課」へご相談ください。

■就労部会

平成27年5月27日に開催されました。障害者の働く場として、一般就労、就労継続支援事業所(A型・B型)などがありますが、障害者がその能力を最大限に発揮して働くことができるようにするためには、各支援機関が連携して行う事が必要です。

特記事項として「平成27年4月から、障害福祉サービスの利用者全員についてサービス等利用計画を作成することとなるとともに、就労継続支援B型事業所の利用者については就労面のアセスメントを就労移行支援事業所等が行う事が必須となっている。」件について行政の説明があった。

■こども部会

平成27年5月15日に開催されました。各種障がい福祉サービス等の「放課後等デイサービス」の対象は、心身の変化の大きい小学校や特別支援学校の小学部から高等学校等までの子どもである。

「放課後等デイサービスガイドライン」策定が望まれ、提言がなされた。「提供される支援の形態は多様であっても、障害のある学齢期の子どもの健全な育成を図るという支援の根幹は共通しているはずであり、したがって、放課後デイサービスを提供する事業所が、その支援の質の向上のために留意しなければならない基本事項もまた共通するはずである。」「各事業所は本ガイドラインの内容を踏まえつつ、各事業所の実情や個々の子どもの状況に応じて不断に創意工夫を図り、提供する支援の質の向上に努めなければならない。」(一部抜粋)等の基本的役割・事業所の基本的姿勢と基本活動等を学ぶ事が出来た。

(記:金城)

《相談支援専門員の集まりについて》

障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身近な市町村を中心として相談支援事業が実施されています。

主に障がい者サービス等の利用計画作成を行っています。

障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けてケアマネジメントによりきめ細かく支援するものです。

野田市には6か所の事業所があります。利用計画作成を担当するのは相談支援専門員で、事業所に1名というところも多く、孤立しがちです。また、利用計画を立てる上で、常に新しい地域の状況を把握する必要があります。

そこで平成25年6月から月に1回「相談支援専門員の集まり」を開催しています。この集りの中で情報を交換し、地域の課題を共有し、時には事例検討をして問題解決を図ります。

平成26年6月からは市の担当者も加わっていただくことができ心強く感じています。

これまでで話題としては...難病の方や医療的ケアの必要な方への社会資源が少ないこと、モニタリングのやり方について、新規事業所等の情報交換などを行っています。



(記:五十嵐)

ゆったりカフェのお知らせ

障がいの種別は問わず、ふらっと遊びに来れる場を企画しました♪申込は不要です。

4月は花見をしましたが、当日天気が不安定で中止にしようかと思いましたが2名で傘をさしながら花見を楽しみました。後日、集合場所にいたが合流できなかったという人もいて、連絡のあり方を考えさせられました。

5月は柏餅を食べながらお話をしたり、トランプをしたりして交流しました。

6月はたこ焼きとお好み焼きを焼いて食べました。青年学級と合同で行ったので人数も16名と多かったのですが、手際よく作業をされ、おいしく出来上がりました。

是非参加してみてください♪

次回の予定

7月5日(日) 絵手紙を描こう13時～野田市中央公民館クラブ室
筆ペンで季節の野菜などを描いてみましょう♪

8月8日(日) ゲーム大会 13時～野田市中央公民館 会議室

(問い合わせはのだネットまで)

趣味の部屋 今回はお休みします。



自分の作品を見てもらいたいと言う方！作品はいつでも受け付けていますのでのだネットまでご連絡下さい！！

ご存知ですか？「フードバンクちば」

梱包の破損や印字ミス、賞味期限に近づいた等といった理由から、品質には問題が無いにもかかわらず破棄されてしまう食品・食材を偉業や個人から引き取り、必要としている福祉施設・団体等や生活困窮者へ無償で提供する活動です。

日本では年間1700万トンの食品が破棄され、その中にはまだ食べれるのに捨てられてしまう食品が500～800トンもあると言われています。

野田圏域では平成26年からフードバンクの支援を受け、「給料日までに食べるものがない...」「急に職を失い食材が買えない...」等々、食料の購入に困窮されている方にお届けして来ました。特に子ども・高齢者と同居のご家族にとって「食」は生命にかかわる重大問題です。のだネットを含め地域の身近な相談機関にご相談下さい。

(記:金城)

お知らせ

□中核地域生活支援センター大会in2015

日時:平成27年7月24日(金)10:00~16:00

会場:千葉市生涯学習センター(JR千葉駅東口又は北口徒歩8分)

定員:200名 参加費:1000円

内容:基調講演「助けてと言える社会をめざして」10:00~12:00

講師 奥田 知志氏(一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表)

シンポジウム「貧困や孤立を生まない地域づくりを目指して」13:30~16:00

パネリスト 三雲 葉子氏(学校法人中山学園 理事長)

飯田 大輔氏(社会福祉法人福祉楽団理事・経営管理本部長)

大戸 優子氏(いちほら生活相談サポートセンター長)

コメンテーター 奥田 知志氏(一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表)

コーディネーター 野沢 和弘氏(毎日新聞論説委員・中核地域生活支援センター評価委員長)

お問合せ先:中核地域生活支援センター「夷隅ひなた」

TEL:0470-60-9123/FAX:0470-60-9124

Eメール:hinata-isumi@sea.plala.or.jp

◆※7月13日(金)までに、ファックス又はメールにてお申込み下さい。◆

□発達障がい者サポーター研修会

日時:第1回平成27年9月4日(金)／第2回平成27年11月9日(月) 共に18:00~19:30

会場:野田市中央公民館 1階 講堂

定員:100名

主催:のだネット 後援:野田市自閉症協会／こころネット・ハートゆう

お問合せ・申込み先:のだネット TEL:04-7127-5366/FAX:04-7127-5367

◆□平成27年度 障害者委託訓練受講生募集！ 入学金・授業料無料！ 定員5名 <eラーニング>

この訓練は、千葉県が、職業能力開発施設への通所が困難な重度の障害のある方等に対し、インターネットを活用した訓練手法(eラーニング)により、IT技能等を習得していただき、在宅就業等の促進を図るため、eラーニングのノウハウを有する民間教育訓練機関に委託して実施する公共職業訓練です。

募集期間 平成27年7月1日(水)~8月19日(水)

対象者 障害のある方で原則(1)~(4)のすべてを満たす方

(1)職業能力開発施設への通所が困難な重度の障害のある方で千葉県内在住の方

(2)公共職業安定所に求職申込みされている方

(3)訓練開始日において65歳未満の方

(4)全期間の訓練受講が可能な方

申込み・問い合わせ先 千葉県立障害者高等技術専門校

TEL:043-291-7744/FAX:043-291-7745

HP:<http://shogisen.ec-net/jp/>

編集後記 今年度もよろしくお願ひいたします。



